PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
VOLUME TWO
Which would be, an incident that would change her destiny—
Which would be, the beginning of a whole another magical-girl tale—

Presented by Mura Kuroe
Based on the story by Magica Quartet
Published by HOUBUNSHA
PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
2

原案●Magica Quartet　漫画●ムラ黒江
魔法少女おりこ☆マギカ 2
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA
©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Partners・MBS

第 4 話
絶対に許さない
003

第 5 話
そのために私はここにいる
055

第 6 話
いつかはいまじゃないよ
095

最終話
私の世界を守るため
133

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
VOLUME TWO

WHICH WOULD BE, AN INCIDENT THAT WOULD CHANGE HER DESTINY ——
WHICH WOULD BE, THE BEGINNING OF A WHOLE ANOTHER MAGICAL-GIRL TALE ——

第4話
絶対に許さない

マジやばいよねー あのドラマ
そうだよねー
宿題どこだっけか オレ今日当てられるかもしんねー

この世のすべてが キライだった

だるぅい 早く終わんないかな
二年にムチャクチャかわいい子入ったらしいよ 頭もいいし運動も出来るって
マジか!? 狙っちゃおっかなー
お前程度じゃムリだって

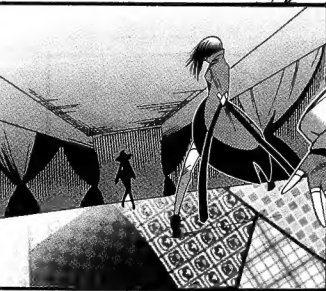
ぜんぶ

くだらない
……

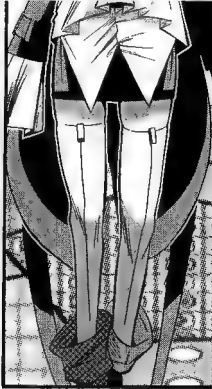
すげえ待ってるんですけどぉー
ち
うっぜえな早く拾えよ

チャリ
チャン

ザシュ
うぐっ…

ヒュ…

こんなに死なない魔法少女は初めてだよ！

新記録だおめでとう

その隙に射線から逃れられる
スピードを彼女は持っている
拘束魔法も
切り裂くことに特化した
あの武器の前では
無力
あきた
あら 随分
飽きっぽいのね
まだ何の決着も
着いてないのに
まるで
子供みたい
ぴく…

だ
れ
が
ギ
こっここ
子供だア!
ギャ

鈍いッ！
狙いもさせないよ！
キッ
ビュン
ゴッ
!?

シュウゥ…。
ちぇ…
砲撃に紛れて逃げられたか…
恩人は意外とセコイ人物だね
うん
でも
ま
その
あれだ
ささいだ
ぴょん

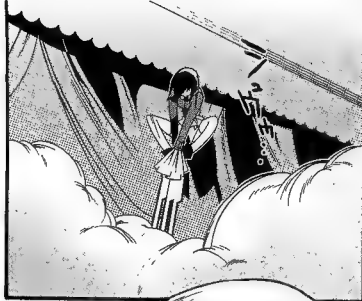
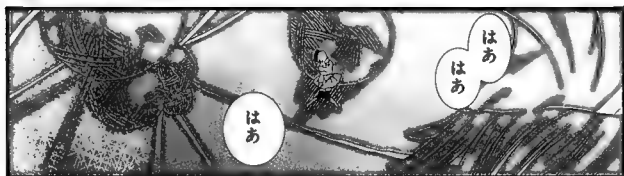
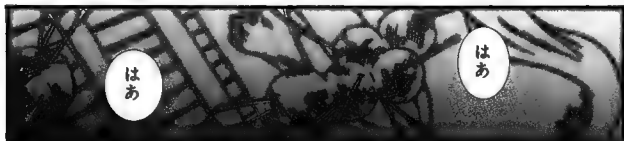
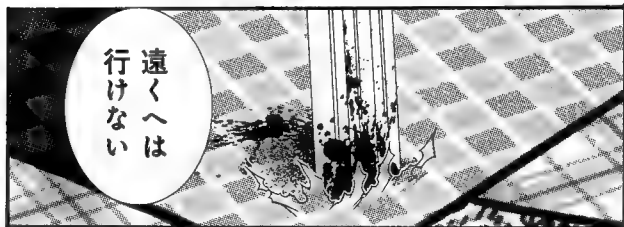
まずい…
早く治さないと

この傷じゃ
あの子の攻撃を避ける
ことすら出来ないわ

ズズズ

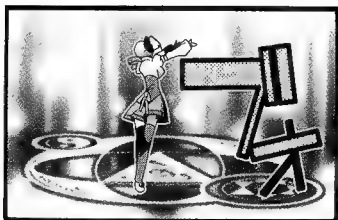
それに
魔女の結界も
未だに解けない…

脱出不可能…!

ズズズ

そうか…！
呉キリカは速いんじゃない
あの子の魔法…
敵の速度を落とす魔法…！
やられた…！
魔女に囚われたのはわざとだ
あの隙に陣を張った…！

どうする？
キリカ以外の行動が
遅くなっているのなら
実質「速い」と同じこと…

移動しないと…
ここもいずれ
見つかるわ

このケガじゃ
魔法に掛かって
いなくても
鈍くなって
いそうね

鈍く……
それなら…
ブォ
コレが本当に
あの子に通用
するのか
わからないけど…
いいえ！

通してみせる！

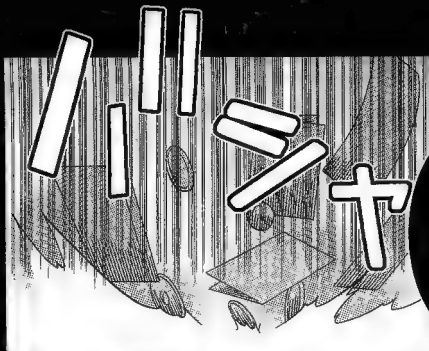
まずいな
結界が崩れ始めた
早く仕留めないと
ズズズズ

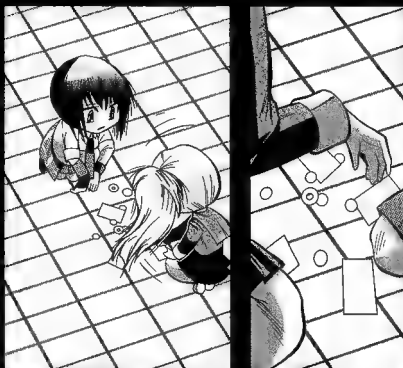
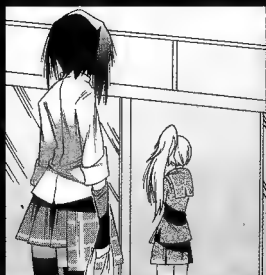
……

魔法少女の死体なんて幾ら見つかってもいいけど生きて帰すのはダメだ
私の存在がヤツに見つかれば

いずれ織莉子に到る

手は私が下す
織莉子は指示してくれればいい
決して矢面に立たさない…!

バシャ
嫌だ
もうあの私に戻るのは嫌だ

とっととしろよなー
後ろつかえてますので早くお願いします
ちゃり
ちゃり

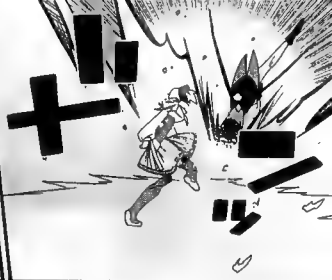
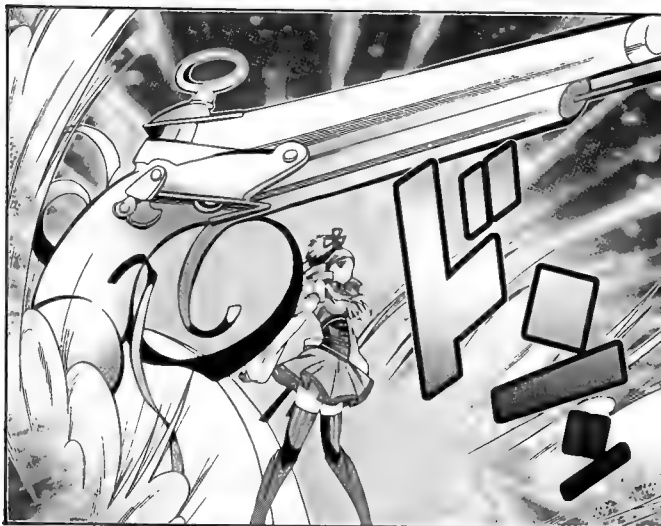
これで全部かしら？
私は他人に優しくされることはあまりなかったけど
うっうん
それだけじゃない

彼女に惹かれる
何かがあったのね
焼きあがったら
型から出して…
それで
どうしたんだった
かしら?
じゅっ
あっつぃ!
もうっ!
お菓子作りは
難しいわ!
でもまた
あの子ったら
おなかすいた!って
駆け込んでくるに
違いないから

そんなによちよち
のんびり歩いて
恩人は
生まれたばかりの
赤ん坊かい？
早く帰ってこないかな…
さあ
見つけた
よし
刻もう！
ユ
ヒ
ナ

きゃあ！

どうしたの？止めがさせたかも知れないのに

ダッ

……
でっかいね…
ドンッ
あなたは確かに「迅い」けど
攻撃が軽いわ

あなたが私を殺す
十手を打つ前に
私は一手で
あなたを倒す！
ふうーん
くっく
く
く

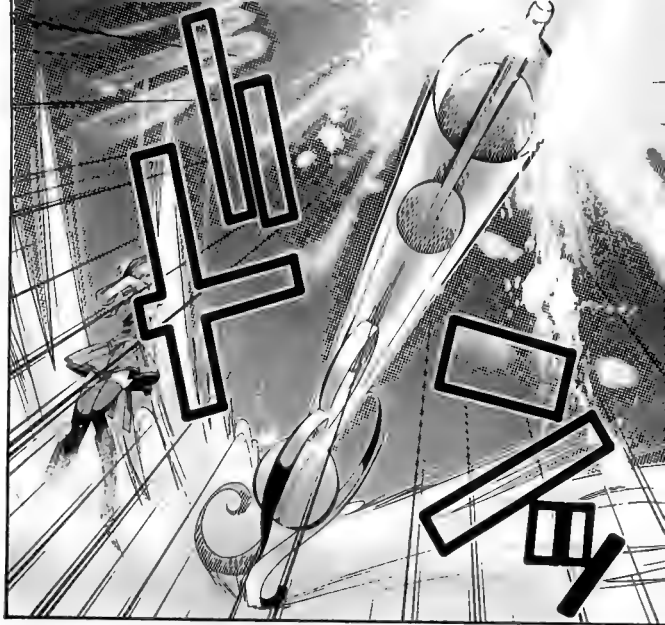
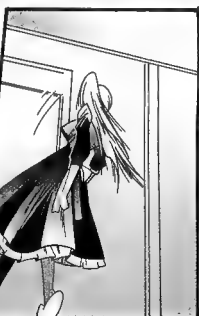
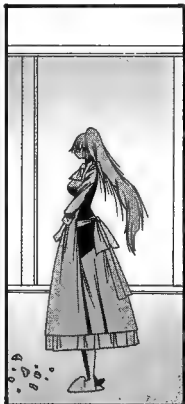
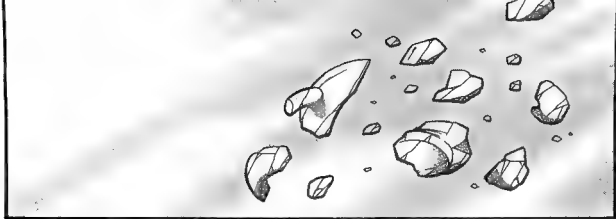
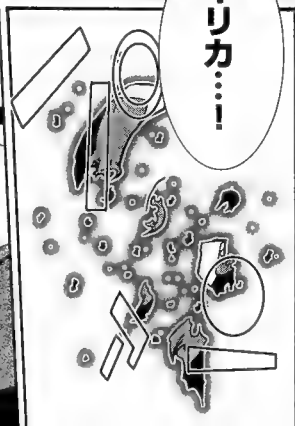
面白バカみたいっ
やれっ
やってみてくれよッ!!
ギャ
ギャ
爪が増えた!!
ご期待に添えましてて!
「手数」を増やしてあげたよ!
パキ
一手で十手だ
さあ散ね

ドン
チャンスは一度!
ガーーーン

速度低下！

ズバ
ッ
うんッ!
ビュ
じゃあね ばいばい
よく頑張りました!
ニチャッ

どしゃ

あ
ああ…
あ
キリカ…!

背後から…？
な
なん…で
ドーンッ

私の挑発に乗って
攻撃を上乗せしたわね
速度低下を
削って
あなたの後ろ側の
魔女結界だけ
崩壊が早くなって
いたもの
……ッ！
私はまんまと
嵌められたのか！
でも！
なんで背後から
攻撃できたッ!?
攻撃なんてしてないわ
私が
撃ったのは
炸裂弾よ

本来敵前で爆ぜるように
魔力を調整した弾だけど
あなたは前面のみに
速度低下魔法を
かけていたから

破裂しないまま
通過した後

魔法のかかっていない
背面で即座に破裂した

つまり

あなたの魔法が命取りになったのよ

くふふふ
あははははっ
…呉キリカ
今度はこちらの質問に
答えて
いやだね!

早く手当てしないと
失血死するわよ?

結構だ！
たかだか死ぬ程度で私のすべてが守れるなら
大いに結構！
質問は受け付けない
私に対するすべての要求を完全に拒否する！

残念ね
グッ

きゃあああああッ！
ドドドドドッ
なっ
何が起きたの？
はっ！
ふわ

白い……
魔法…少女…
白い魔法少女──織莉子ってやつだ

貴女方とは
またお会いする
と思いますわ
きっとその時

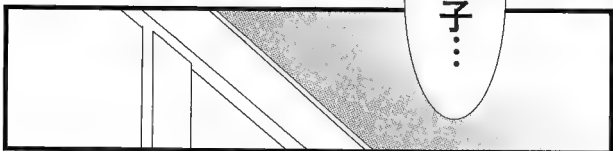
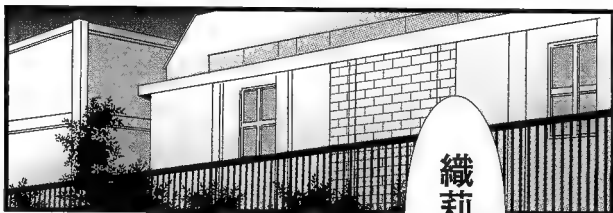
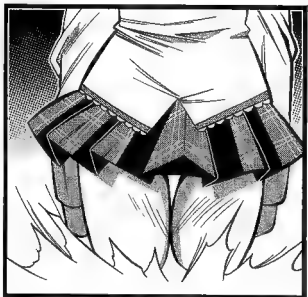
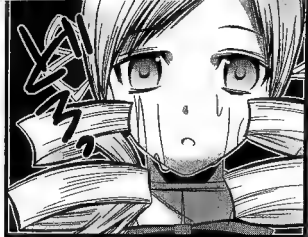
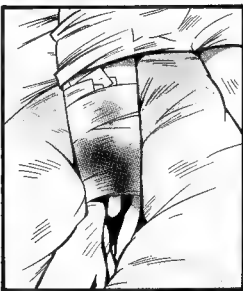
貴女は
ご自分の愚かさに
気付くでしょう
御機嫌よう…
ッ…

織莉子…

血が
止まらない…

どうして!?
お医者様
お医者様を
呼ばなくちゃ

見事に弱点に
打ち込まれた
巴マミは
優等生だね
織莉子

医者は要らない
これを診せても
どうにもならないよ

な…
何言ってるの？
このままじゃ
貴女は…
いいんだ
よくないわ！
それより
私の告白を
きいてほしい

あの子だ…
あの日以来
私は街で織莉子を
探すようになった
元々さぼりがちだった
学校にはもうほとんど
行かなくなっていたが
そんなことは
気にもならなかった
電車がホームに
入ります
危険ですので…
偶然を装って
声をかければいい
一度会ったこと
あるんだし
私のこと…
覚えてますか
って…

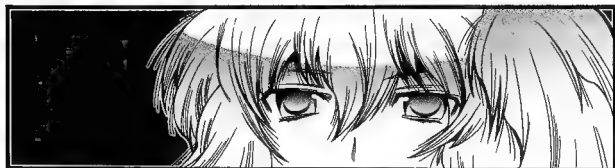
私のことなんか
覚えてるわけがない
何もかも興味がないなんてウソだ
ぺシャ
ゴトッゴトッゴトッ
何にも興味ないフリをして
みんなを見下したフリをして
妬んでるんだ
私なんかのことを気に留めてくれる人なんて
いない

変わりたい…
違う自分になりたい…
ぴょん
それが私の願いだったんだ

ゴメンよ
織莉子が知ってる私は
ニセモノだったんだ

本当の私は
嫌われるのが怖くて

友達も恋愛も
何にも出来ない
向き合えない

いじけた子供
なんだ

許さないわ！
絶対に
許さない！

貴女には私を
欺いた罪に報いる
義務があるわ！

例えどんな姿になっても
私に尽くし護りなさい

絶対に
許さない

わかった
約束するよ
はー
終わった
終わったー

おなか すいたねー
どこか 寄ってく？
おー いいねえ！
アイス食べたいな トリプルで！
さやかさん お腹こわしますわよ？

わたしは ドーナツが いいなあ
ほむら ちゃんは？

私はあなたの 好きなものでいいわ

まどか

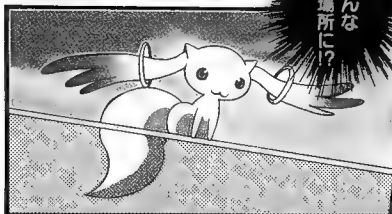
ほら あの人よ 生徒会長で 学年トップの
美国織莉子さん
なんて美しい方かしら あの方とお茶をご一緒してみたいわ
美国会長は 我が校の誇りですわ
いやはや さすが美国くんの娘さんだ
とても聡明なお嬢さんだ
これからも 父上の名に恥じぬよう 頑張りたまえ
本日未明 ××党 美国久臣議員が 自宅で首を吊っているのが 発見されました
病院に 搬送されましたが 本日14時に死亡が 確認されました
美国議員には 以前から経費などの 改竄による 不正疑惑があり 警察は追及を逃れての 自殺の可能性が 高いと見ています

朝礼の時間です
生徒のみなさんは各教室に戻ってください
キュゥべえ あなた魔法少女狩りの犯人を知っていたんでしょう？
まあね
でも確証もなく断言はできないだろ？
…
そういうことにしておいてあげるわ
それより
あの子たちは何故あんなことをしているの？
……
では朝…
ギャッ
織莉子は…

ゴッ
魔法少女の
力で
あらあら
先生に暴力振るう
なんてよくないわ
いーの
いーの
この放送はッ
私とッ
織莉子がッ
占拠した！
世界を
支配しようと
しているのかも
しれない
第5話
そのために私はここにいる

なっ…！
え？ なに？
朝礼じゃないの？
レクリエーション
じゃないの？
演劇部とかの
髪長い子
超キレイじゃね？
ザワザワ
ザワ
テステス
マイクテスー
キリカ
カメラそっち
じゃないわよ？
え？
え？ なに？
どうしたの？
あいつら
なんなのさ
大丈夫 何も
心配しなくて
いいわ
ほむら
ちゃん…

詰める気だね
織莉子…
キミの能力は
解った
目的もね
大それたことだ
キミの…いや
人間の考えることは
いつも理解できないよ
美国織莉子
キミを処分
させてもらうよ

ザワ
ザワ
美国織莉子…！
何故こんな
目立つ場所に!?
あれ白女の
制服じゃん
お嬢様学校の？
なんでうちの
ガッコにいるの？
皆さんには
愛する人が
いますか？

家族　恋人　友人
心から慈しみ
自らを投げ打ってでも
守りたい人がいますか？
そして
その人達を守るに到らぬ
自分の無力を嘆いた
ことはありますか？
絶対的な
悪意と暴力
世界は危機に
陥っています
ハア？
あの人
何言ってんの？
電波さんかよ
個性的な方
ですわね…
みんな
静かに
先生方が
放送室見てくるから
そのまま座ってて
それが形成した
ものが降りようと
しています

しかし
私は戦う
いま…私を見た?
!?
来るがいい 最悪の絶望
で 結局 何だったわけ?
意味 わかんねー

!!
キャアアアアアア

え…
なにこれ？
教室が変わってく
やだぁ怖いぃ
さやかちゃんここなんか嫌な感じがする…
あたしもだよ

み みんな落ち着いて…

あれ…?
ねえ 先生の
肩に何か
ついてる?

いたたたっ
みんなー
どこにいるのー
きゃっ！
まどか！
あたた
も～
押し出すなんて
ひどいよ

!!
うそ・・・
うわぁぁ
やだよー
あっち行って!
このっこのぉ!
誰か!
誰か
助けて!
怖いよぉ
やだよぉ!
押さないでよ!
早くしろよ
バカ
教師は何
やってんだよ
悲鳴聞こえるよ
誰か襲われてるん
じゃないの!?
知らないわよ
早く逃げないと
もう・・・だめ・・・

…!?
…ずいぶんと
色々なことが起こる
時間軸ね
まあいいわ
私のやるべきことは
いつだってひとつ
それを
邪魔するものは
排除
するだけ

下がりなさい！

キリがないわ!

生徒達一人一人
助けるなんて
とても無理

一刻も早く
魔女を倒さないと

!?
呪い?
いえ…もっと明確な何かの意志
あそこが最深部ね…
ド

キキ…
バラララ
ダッ
ビュ

ありゃりゃ
捕まっちゃった

ったく
何やってんだか

あなた達…どうしてここにいたの？

いたいとこある？ゆまが治すよ

キュゥべえのやつが招集かけやがったんだよ白い魔法少女が暴走してるってさ

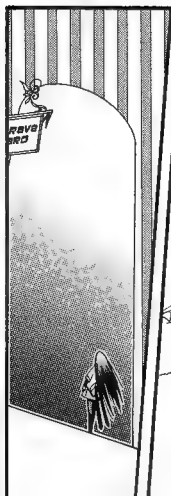
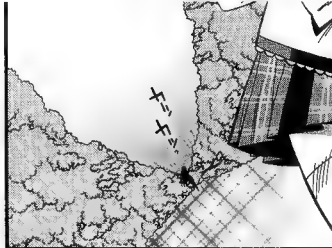
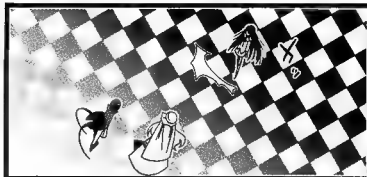
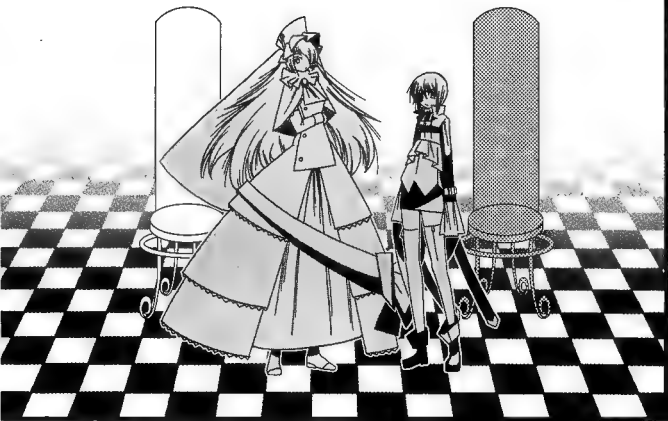
胡散臭い話だけど
織莉子には借りがあるしね
MARGOT GARDEN
そう…でもこんな小さな子連れてきて大丈夫なの？
えっ
ゆまはちゃんと戦えるよっ
役に立つんだよっ！
あの奥だ行くよ！
ふふっ期待してるわ頑張ってね
うーーっ信じてないでしょ！
おいおしゃべりは終わりだ

ほむらちゃん！

ほむらちゃん！

ほむらちゃん!!

違う…
違うよ…
そうじゃ
ないよッ!
なんで?
なんで
私だけなの?
まどか?
助けてくれたのは
すごく嬉しいよ…
でも でも…

さやかちゃんも仁美ちゃんもここにいるんだよ！

ひどいよ…

二人もわたし達の友達なのに

みんなを見捨てて
逃げるなら
わたし助からない方が
よかった…！
まどか
助からない方が
いいなんて
言わないで

私だって
万能じゃない
すべてを救う
なんてできない
でも
それでもあなたを
救いたかったの

わっ？

だから
言わないで

ここからは
私一人で行くわ
その結界の
中にいれば
使い魔たちは
手を出せない
私が戻るまで
そこで待っていて

ほむらちゃ…

いたッ

ほむらちゃん

ひどいこと言ってごめんね…

帰ろ

一緒に帰ろ…

カッカッ
ドローン
そのために私はここにいる
GRAV
YAR
rave
ARD
必ず帰る

ようこそ

この魔女結界を解きなさい
あなた達が関与しているのでしょう？
何のことかしら？

……

!!

あらあら
怖い子ね
はじめから
話し合うつもり
なんてなかったの
でしょ？
ギャャッ
!?
当たらない？
貴女のこと知っているわ
あの場所に
居た子

世界の終末に

…それが
それが理由で学校に結界を敷いたの？
驚いたわ
貴女はあの場所にいた・・・貴女なのね
ならば
私の話が理解できるでしょう
鹿目まどかを排除する！
終末を避けるため
世界を救うため

ガガガ
ガガガ
ガガガ
あれを見て尚
鹿目まどかを
諦められない
のね
残念だわ
速い!

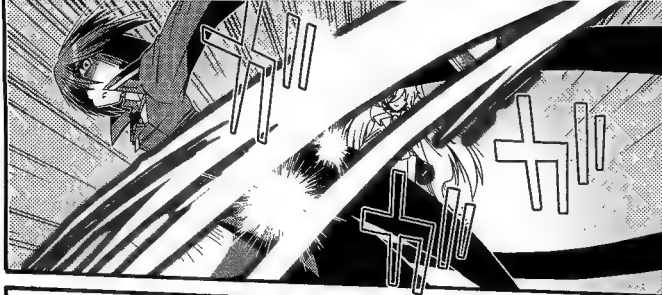
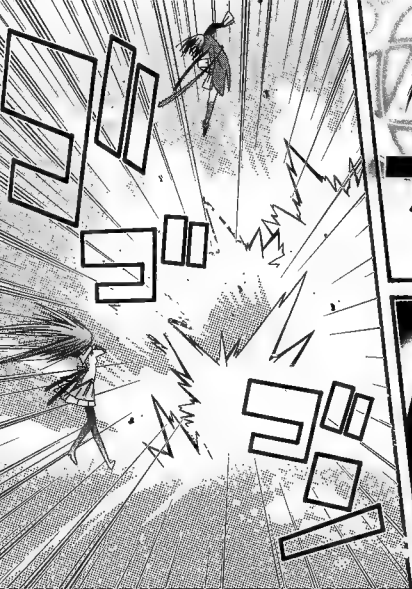
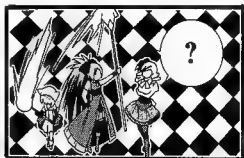
ブンッ

!

ゴゴゴン

ポロ。。

…なんだい
今更べそかいて
ごめんなさいってか？

…………
可哀想に

魔法少女のままじゃね

もう私は

結界が張れるくらい引っ張られてるんだから

…っ！
大丈夫
私は何になっても
決して織莉子を
傷つけたりしない
まさか…
この結界を
作っているのは
いや むしろ
こうなることで
キミを護ることが
できるならば
私は
なに？
うわっ！
安らかに
絶望できる！

キリカ
真に絶望するのは貴女じゃない
真実を知るあの子達よ

裏切られた
お父様に
第6話
いつかはいまじゃないよ
くすくす
よく学校に来れますわね
ずぶとい人ね
我が校の質が落ちてしまうわ
盗人猛々しいってこのことを言うのね
くすくす
くすくす
すべての
先生はお会いにならないと言っています
あなた
ご自分の立場を解っておられないんですか?
選挙も近いというのに不正議員の娘なんかに纏わりつかれたら堪らないでしょう?
信頼していた
人達に

君には
才能が
ある

ボクと契約
するといいよ

ドキャ
ミ
ガ
魔法少女が
KIRIKa
KURe
1998-
2011
DeaD
魔女に
なった!?

たぁっ!

うわッ!?

マミ！
何すんだよ
邪魔するな！

!
ガン!!
ド
ヒュ〜
わ〜
きゃあ!

ビュ
なっ!?
ガキンッ
速い…
長期戦は不利ね
!
メキッ

ドサァァーッ

ポイッ

あいたっ

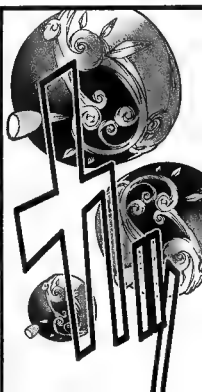
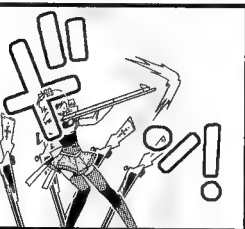
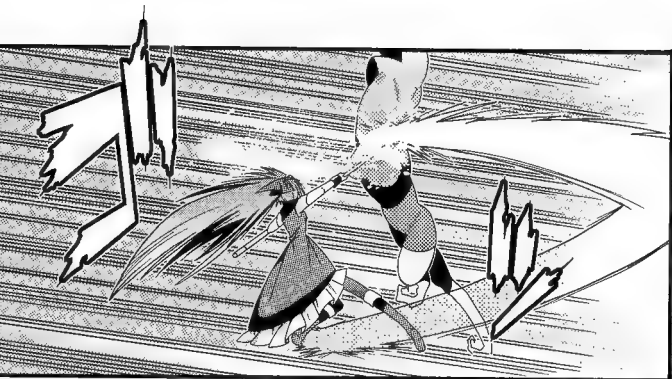
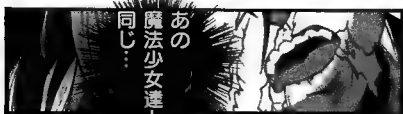
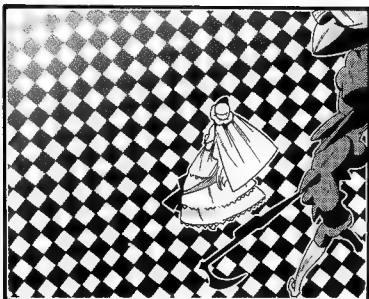
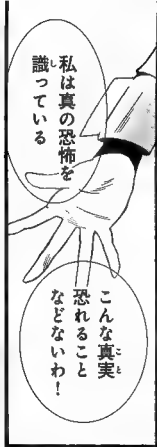
あいつらは私が倒す

みんな 真実を
受け入れられないのね

何が起こったのか
彼女達は
理解しているはず

しかし
受け入れ
られない
異物のように
毒のように
えづき侵され
壊れて
いくだけ…
だから

心乱れて
まともに
戦えない

あの
魔法少女達と
同じ…

私は真の恐怖を識っている
こんな真実恐れることなどないわ！
自らの運命すら受け入れられずただ立ち竦む
哀れな魔法少女達
せめて安らかに眠りなさい！
ドドド
パッ

そうね
貴女は識って
いたわね
手を組めたら
良かったけど
無理ね
貴女は
鹿目まどかを
守ろうとしている！
まどかを
殺そうとしてる！

う
うわあああああーーっ！
このっ死ね！死ねっ！
パカッ
仁美走って！
タタッ
さやかさんこれは何ですの？
わかんないよ！
ここがどこなのか出口がどこなのか全然わかんないし
あたしが教えてほしいよ！

!

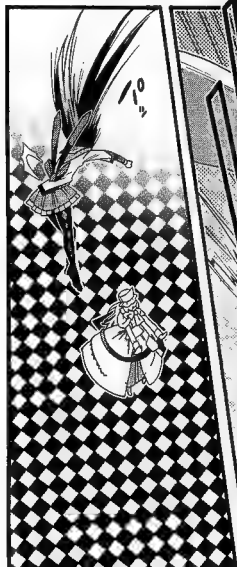
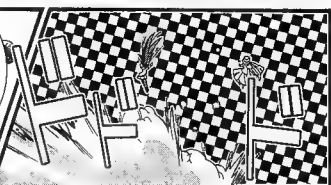
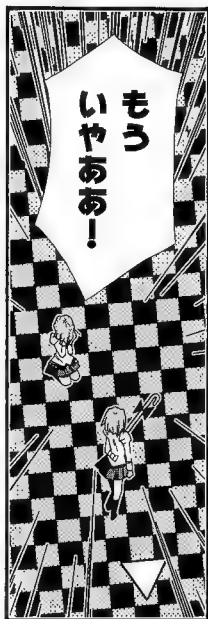
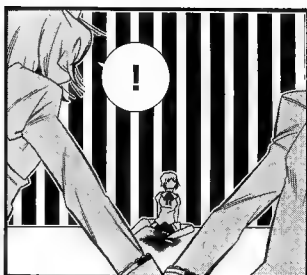
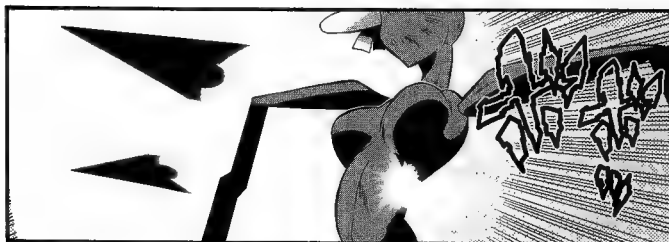
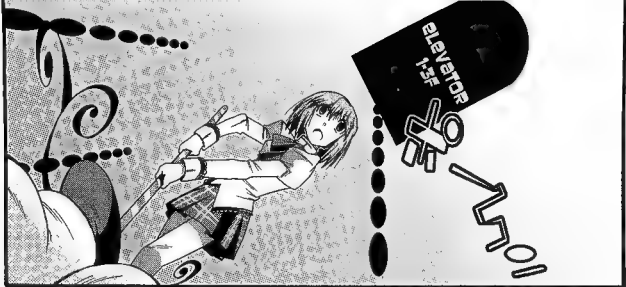
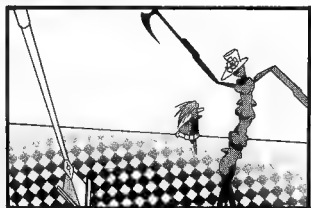
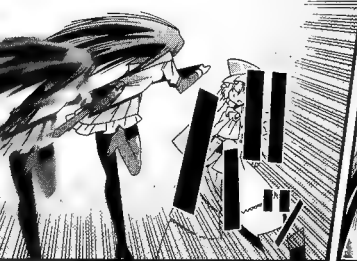
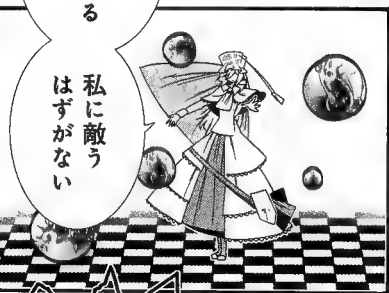
もういやああ!

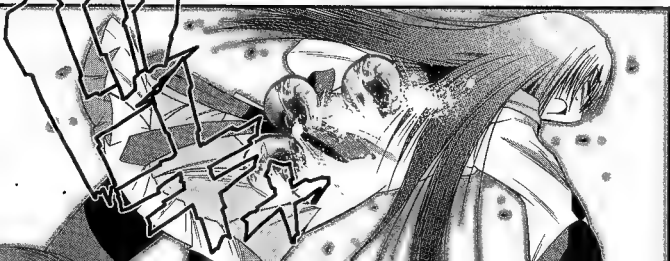
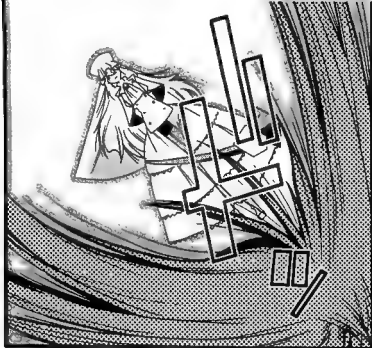
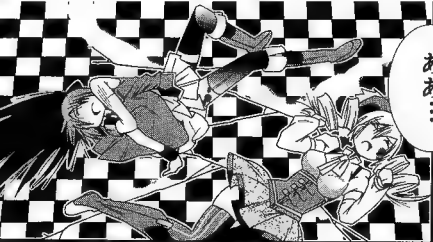
仁美 止まっちゃ ダメ!
もういいですの… こんな思いするなら いっそ死んだ方が まし…

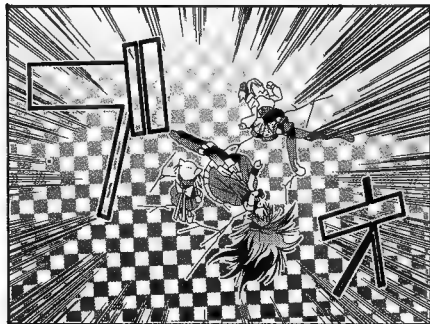
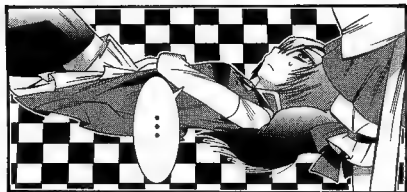
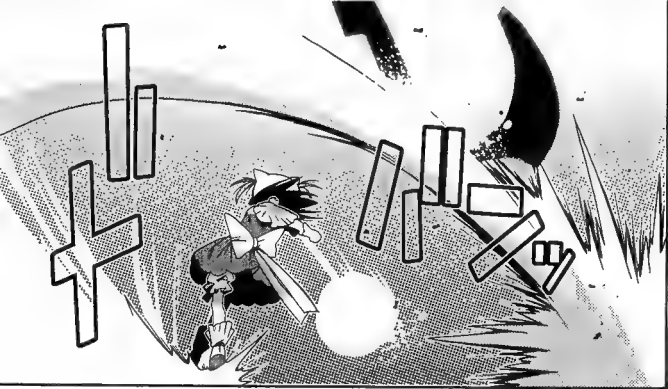
や…やだ 来ないで…
来るなよぉ!

魔法少女が魔女に!?

私もああなるっていうの?

あぁっ！
調子に乗るなよッ
バッ
しまっ…！
うわぁッ

キョーコ…
マミ
おねえちゃん…
成る程
時間操作の魔法ね
それならば
貴女の存在が理解できるわ
美国織莉子の
魔法は恐らく
予知
だけど
それだけでは
私の攻撃は
避けられない
あの魔女のスピード
その魔法が彼女にも
作用しているのだろう
予知で攻撃を読み
高速で着弾前に避ける
あの魔女を先に
倒せばいいのだけれども
そんなことも
お見通し…ね

なんてイレギュラーの多い時間軸…
何度繰り返したの？
あと何度繰り返すの？

貴女が歩いた
昏い道に
望んだものに
似た景色は
あった？
黙りなさい…
黙れッ
私は
貴女とは違う

道が昏いなら
自ら陽を灯す
違う道に
逃げ続ける
貴女が
私に敵う
はずがない

ガはッ

あ…
ああ…
まってて
すぐ治すから！
いい…！
ゆま！ おまえは
逃げろ
え？
そうね…傷を治して
どうするっていうの？
見たでしょう？
ソウルジェムは
魔女を産むのよ

魔女になるくらいなら
ここで死んじゃった方が
いいじゃない…
…
ゴゴゴゴ…
勝負あったわね
ブオ

!
治ってる…
ゆま!?
ゆまはね ママに
いじめられたとき
いつも考えてたよ
死んじゃった
方がいいって

いつかはいまじゃないよ

く…

また…
失敗するのか…

私一人では
こいつらにすら
敵わないの？

また…

また失うの？

ドガガ
ガガ

……！
なっ
キリカ!?
巴マミの
連続砲撃
その軌道を
千歳ゆまの
衝撃波でずらし
回避を困難にし
砲撃の隙間を
縫うように
佐倉杏子の
攻撃が展開する

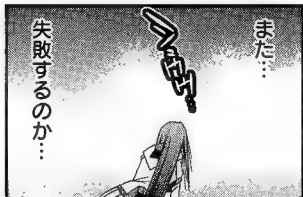
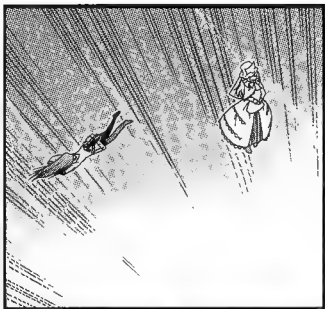
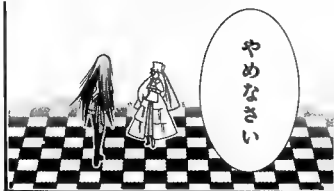
ったく！
ガキに説教されるなんて
あたしもヤキが回ったかな
らしくないね
この結界を解かないと
生徒達がどんどん
犠牲になっていく
考え事は
後にしておくわ！
キュゥべえのやつ
とっちめてやるわ
でも
その前に
織莉子だ！
ヒュン
ガッ

ティロ
フィナーレッ!
キリカッ!

何処へ行くの？
暁美ほむら…
退けッ！

なんで・・・
あなた達は
いつも
私達の邪魔をするんだッ！

やめなさい

そのまま魔力を使い続ければ
あなたも魔女になるわ

未来を
受け入れられず
絶望してきた
彼女達が

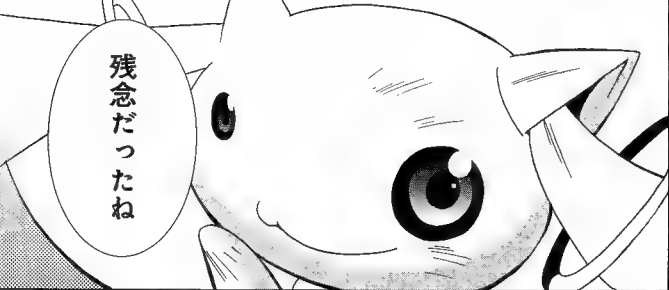
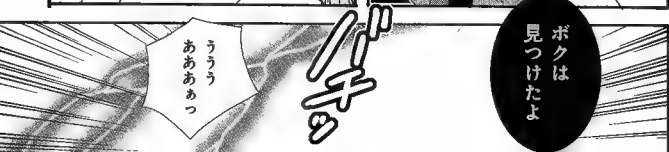
このイレギュラーだらけの
時間軸は

私の旅を終わらせる
奇跡を起こしてくれるの…？

キミは本当に
困った子だね
織莉子

ゆまの存在を教えたり
魔法少女狩りなんて騒ぎを
起こしたんだね

その隙に彼女を見つけ
魔法少女になる前に
始末するつもり
だったのに
思わぬ守護者が
いた

それでこんな
強攻策に出たのかな

残念だったね
インキュベーター…!!
ボクは見つけたよ
ドキッ
ううう ああぁぁっ

ファーッ
パァー
ズち〜ん
いちち…
わたしが行っても
何の助けにもならないかも知れないけど
すっ
ほっとけないもん！
鹿目まどかを見つけたよ

最終話 私の世界を守るため

さやかちゃん
仁美ちゃん
大丈夫？

はあ

はあ

九死に一生だったわ

ここにはおばけがいなくて助かったよ

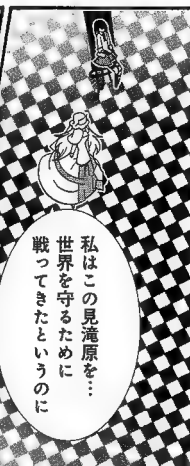
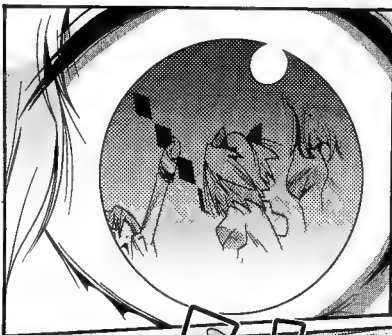
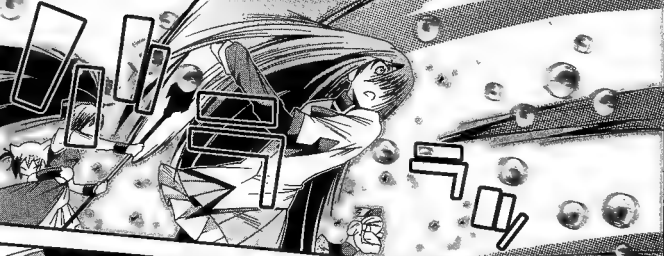
おまけにまどかまでいるなんて超ラッキーじゃんははっ

さやかちゃん下はどうなったの？

わたし
行かなくちゃ…
行くって
何処にですの？
ほむらちゃんが
戦ってるの
戦ってるって…
ほむらが？
あのおばけ達と？
ごめんねっ！
まどかさん！
まどかさん!?

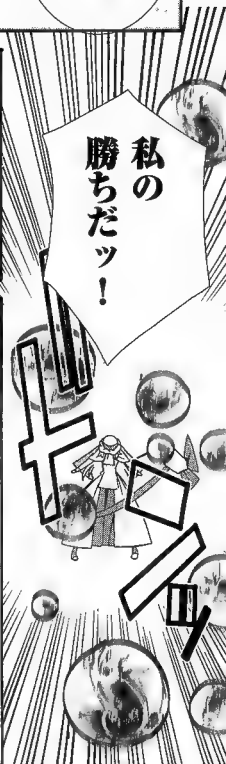
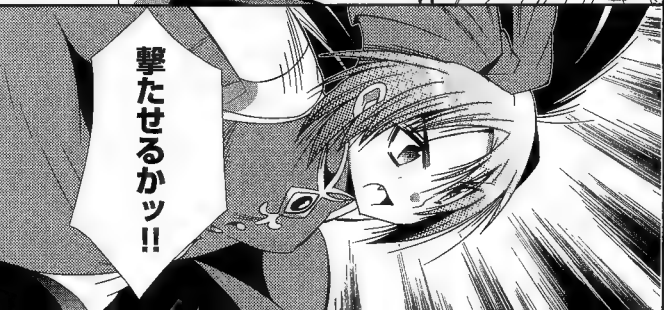
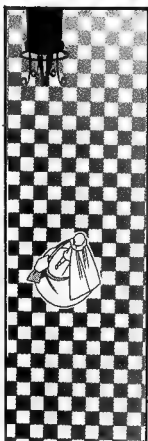
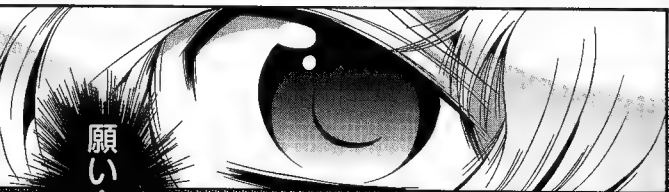
だから

さやかさんが助太刀してやろうかな

友達でしょ
ほっとけないって
さやかちゃん…
ほらっ
さっさと行くよ
仁美も！
うっうん
こうなったら
なんでも来い！
ですわ
私はこの見滝原を…
世界を守るために
戦ってきたというのに
貴女達は…
おまえはッ

鹿目まどかは
最悪の魔女に
なるのよ
生かしては
おけない！
まどかを
魔法少女には
させない
私が
それに…
あなたに訊きたい
ことがあるの

ダダダダダダッ
ラッ
――――ッ！
やめなさい！
もうあなたの
ソウルジェムは
限界なのよ!?
パンッ
解る！鹿目まどかが
もうすぐここに来る
退くわけには
いかない!!
時間停止を連発させて
暁美ほむらの
魔力を削ぐ！
キリカの速度低下も
まだ持続している！
ドドドドド

鹿目まどかが
ここへ入った瞬間
全魔力を使って
攻撃を仕掛ける
暁美ほむらの
時間停止能力さえ
なくなれば
私の
勝ちだッ！
ゴッ
くっ！

ブーーンッ
てぇーーい！
トッ
この…ッ！
ヒュ
撃たせるかッ!!

ヒュ
アッ

ドシャッ
あれはもう
ただの死体だ
願い…？
うん！
キミの祈りが
ソウルジェムを
生むんだ

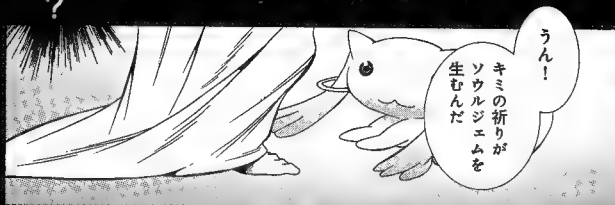
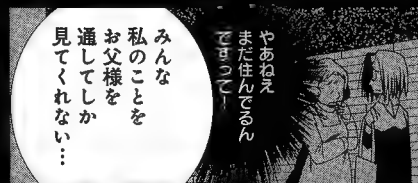
私は…

私の願いは…
世界をよくするために
お父様のために
みんなのために
織莉子はもっと
がんばります

美国議員が自宅で
首を吊っているのが
発見されました

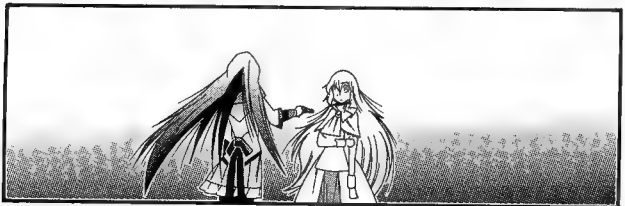
我が校の恥
もう来ないで
下さい 迷惑です

美国？ ああ
あの汚職議員の娘か

やあねえ
まだ住んでるん
ですって～

みんな
私のことを
お父様を
通してしか
見てくれない…

私が
お父様の一部に
過ぎないと
いうのなら
何故私は
生きてるの？
私は・・・
私が生きる意味を知りたい

ドス

ま…だ…
倒れるわけには
いかない…！

撃たないの？
撃つわ
ひとつ答えて
あなたは何故
こんな戦いを
挑んだの？
私の世界を
守るため よ
ガシャッ

パロンアッ
ぱ…
暁美ほむらは
失敗する
世界は
もうすぐ
終わるだろう
私は…
何も
成せなかった

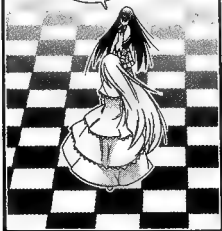
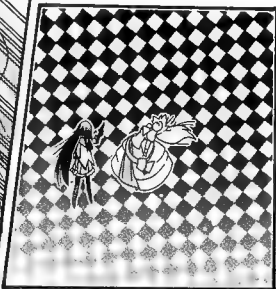
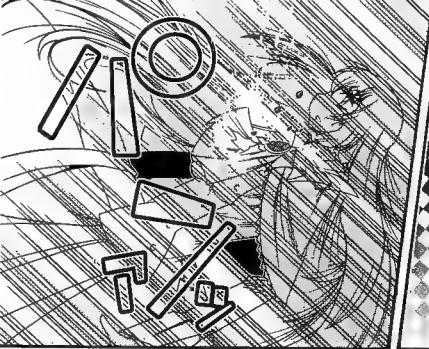
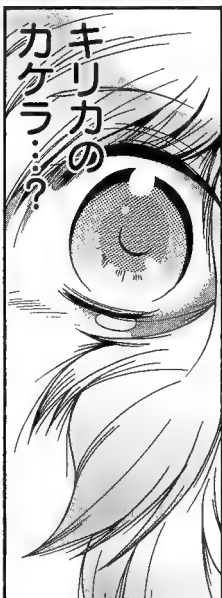
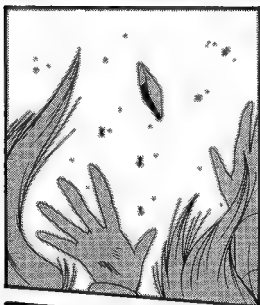
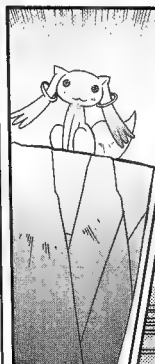
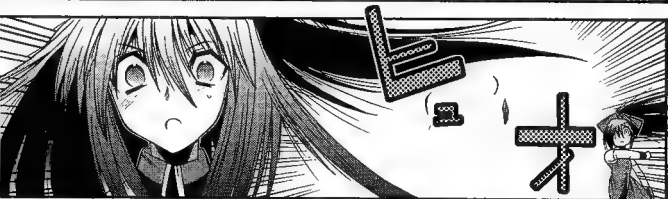
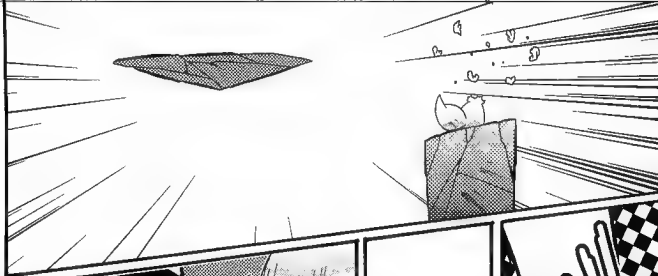
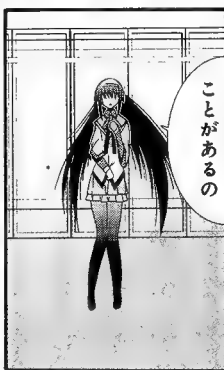
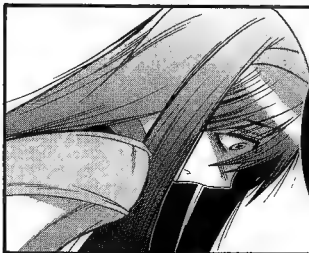
パキ
くやしいなあ…
！
キリカのカケラ…？
最後の

一撃!!
ヒュッ
ビュオ

終わったのか？
ええ
死んだわ

みんな…
聞いて欲しい
ことがあるの

キャアアアアッ

ん？
どこで騒いでるんだ？
今の声は…
あっあそこ！うずくまってる子達がいるわ
やれやれ
やってくれたね織莉子は

ゆま
間に合うか？
織莉子が最後に
狙ったのは
ボクじゃない…
壁の向こうにいた
彼女さ
まどかあああああ

私の世界を守るため よ
まどか！まどか!!
まどかさん！
返事してよ！
うわああああああああ
カチン

ここ 見滝原中学校で
生徒、教師多数が突如
失踪した事件ですが
事件、事故両方で
捜査されていますが
未だ何の手掛かりもなく
捜査は難航していいます
次は天気予報です
アッレー？
なーんで誰もいないのー
今日休みだっけ？
ン？
どうしたの
キミ
こんなとこ
座り込んで
うちの生徒
じゃない
みたいだけど
私は
たくさんの人を
殺したの

結果として
たくさんの人を
救ったけど
それでも
私には
重すぎて
立てないの…

ふーん
よく
わかんないけど
でっかい荷物
持ってるって
ことかなぁ

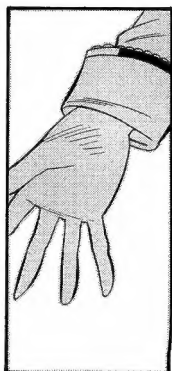
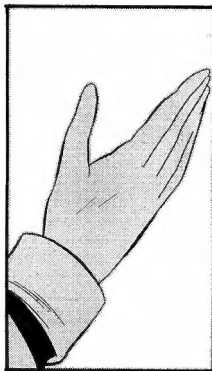
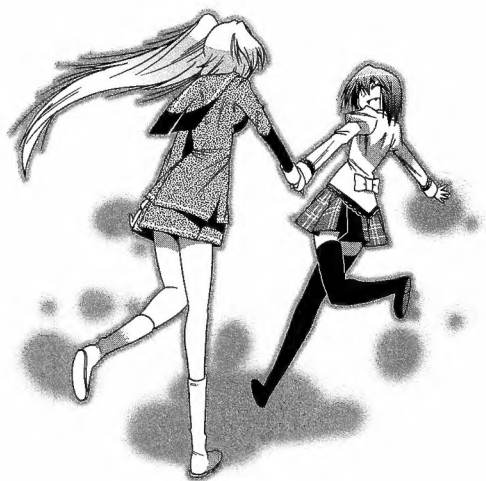
ン――

じゃあ!

私が半分
持ってあげよう!

え・・・

だから

一緒にいこう

最後までお付き合い頂きありがとうございました
またどこかで

ムラ黒江

本書は原作に基づいて新たに描き下ろしたスピンオフ作品として刊行しております。